

## 脱資本主義のすすめ

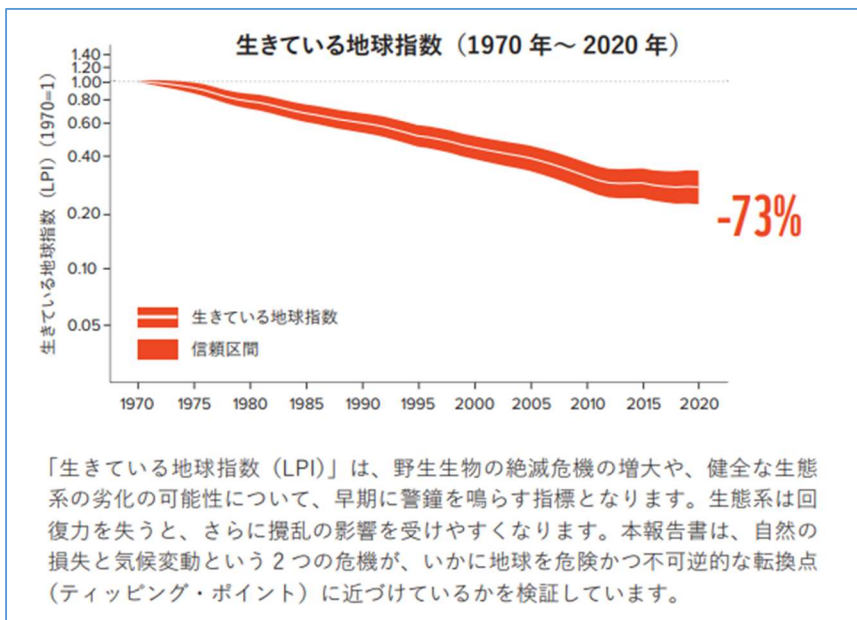
循環研代表 久米谷 弘光

### 環境と戦争の危機をもたらしているもの

今年 2024 年の夏も日本の平均気温は、気象庁が 1898 年（明治 31 年）に統計を取り始めてから去年と並んで最も高くなった。猛暑により熱中症で病院に搬送された人は 8 万人超と昨年を超えた。海水温の上昇などによる記録的大雨の被害も大きかった。7 月には東北、北海道を、9 月には正月に大震災に見舞われた能登を襲った。

この 10 月 10 日には世界自然保護基金（WWF）が、地球上の生物多様性の豊かさを示す「生きている地球指数（LPI）」指数が、過去 50 年で 73% 低下したとの報告書を発表した。

気候変動や生物多様性の喪失などの地球環境危機は、数々の国際機関や各国政府の警鐘や取組の掛け声にかかわらず深刻度を増している。



出典: WWF ジャパン『生きている地球レポート 2024』

P1 脱資本主義のすすめ  
P10 環境俳句  
P12 春夏秋冬

循環研代表 久米谷 弘光  
循環研理事 及川 陽子  
風月

そして、これまた国連や各国政府の自制を求める働きかけにもかかわらず、ウクライナへのロシア侵攻は2年以上、イスラエルによるガザ攻撃は1年以上続いている。明らかに戦争犯罪である人道を無視した野蛮で残忍な市民への攻撃、旧式兵器の在庫一掃が過ぎてドローンのような最新兵器の使用が続く。ロシアのプーチンは、核兵器使用もありうると威嚇し、イスラエルのネタニヤフはイランの核施設攻撃にも言及している。ふたりの戦争犯罪者にとっては、もはや戦争の継続、世界の混乱しか自らの地位や権力維持の道はないのか。中東戦争や第三次世界大戦への拡大、核戦争の懸念も深まっている。

こうした世界がいま直面している環境と戦争の危機をもたらしているものは何か。

もちろん、プーチンやネタニヤフなどの人道や環境負荷を無視して戦争を始め、継続する指導的権力者の意思やイデオロギー、宗教、民族、領土問題などの要素は小さくない。しかし、2度にわたる世界大戦を含め、長期的に環境破壊や戦争の原因、原動力となっている大きな要素がある。

それは、資本主義である。

## ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年10月11日時点)

▶ **ウクライナ軍が露西部クルスク州への越境攻撃を実施する一方、露軍は、同攻撃に対応しつつも、ウクライナ東部への攻勢及びウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続している模様**

戦害による人的被害・物的損失の状況  
露軍：死者約18万人（ゼレンスキー大統領演説24年2月25日）  
死者約20万人、負傷者約40万人（WSJ24年9月17日）  
死者約64.8万人以上（英国防省24年10月7日）  
「ウ」軍：死者3.1万人（ゼレンスキー大統領演説24年2月25日）  
死者約8万人、負傷者約40万人（WSJ24年9月17日）  
「ウ」市民：死者10,582人以上、負傷者1万9,875人以上（UN24年2月22日）

- 英国防省は、露軍兵士の1日あたりの平均死者数が、9月に過去最大の1271人になったと発表（10月7日）
- 「ウ」作戦・戦略情報部「ルハンスク」報道官は、露軍がドネツク州トレツク市の東部郊外に進軍したとし、激しい戦闘が行われている旨発表（10月7日）
- ウフレダル市の防衛に当たっていた「ウ」軍部隊の司令官は、同市での戦闘について、露軍が特に戦車、歩兵戦車、砲兵及び人員面で非常に優勢に優勢に発言。また、理論的には戦力比が1:3になれば露軍が優勢になるが、同市では1:9であったと言及（10月8日）
- 露国防省は、2日にドネツク州ヴェルフニコミヤンスク村、4日に同州ウフレダル市、5日に同州ジェランネドゥル村、7日に同州フロディウカ村、8日に同州ソリヤネ・ベルシェ村及びビゾタ・ニューヴァ村を解放したと発表

- 「ウ」メディアは、ドネツク近郊の露軍支配地域に対して実施したミサイル攻撃で、北朝鮮戦機6人が死亡したと報道。韓国国防部長官は、同報道について事実である可能性が高いと述べたほか、北朝鮮が露側に正規軍を派遣する可能性は極めて高いとの認識を表明。他方、露大統領報道官は、同報道について否定（10月4日、8日、10日）
- 露国防相は、F-16戦闘機を「ウ」に初供与したとし、残りも数か月以内に提供する旨発表（10月7日）
- 仏国防相は、2025年前後に、仏空軍戦闘機「ミラージュ2000」を「ウ」に供与予定であると発表。また、「ウ」用に、空対地誘導用の装備や電子戦システムを強化する改良を実施しているほか、「ウ」パイロット及び整備士の訓練を実施していると書及（10月7日）
- ゼレンスキー大統領は、遅くとも2025年までに戦争を終結させる可能性について言及（10月9日）



出典：防衛省 HP「最近の国際軍事情勢」

## 資本主義の3つの特徴

環境と戦争の危機の原因、原動力の大きな要素として資本主義がある。それは、資本主義には次の3つの基本的かつ本質的な特徴があるからである。

第1に、資本主義は文字通り、資本の価値増殖、つまり金儲けないし利潤の追求を最優先とすることである。生命や環境よりも資本の価値増殖(金儲け・利潤追求)を優先することが、戦争や環境破壊の大きな原因、原動力になっている。

第2に、資本蓄積に伴うコモンズの破壊や収奪、略奪、資本一賃労働関係による搾取によって経済格差を拡大し続けるということである。経済格差の拡大は貧困や弱者の生活環境の質の低下、社会の分断、社会不安、暴力やテロや戦争の温床となる。

第3に、経済恐慌など危機局面において帝国主義的戦争を引き起こすということである。領土や植民地の拡大を求める国家と金融資本、軍需産業を含む産業資本の融合した国家独占資本主義=帝国主義を担う構成主体にとっては、戦争は恐慌の危機回避や新たな領土・植民地の獲得、戦争特需の機会である。各国の外交やグローバル資本が展開する複雑な国際ネットワークを反映して、国家間だけでなく地域ブロック間の戦争や国内の地域や民族の独立戦争、内戦の様相を呈することもある。レーニンが帝国主義を「資本主義の最後の一段階」であり、「寄生的な腐朽しつつある資本主義」であり、「死滅しつつある資本主義」だと指摘している(『帝国主義論』1917年)。現代の世界の資本主義は、すでに十分に帝国主義段階に到達している。

これらの3つの資本主義の基本的かつ本質的な特徴が、いままさにわれわれが直面している環境と戦争の危機の原因、原動力となっているのである。

## ロシアもイスラエルも帝国主義国家

ところで、ウクライナ侵攻を続けるロシアは社会主義国ではないか、あるいは、ガザ攻撃を続けるイスラエルはハマスへの報復で資本主義による戦争にはあたらないのではないかという疑問もあるだろう。



まず、1991年のソビエト連邦の崩壊後、ロシアの経済はソ連時代の社会主義に基づく中央計画経済から、より市場機能を重視した経済へ移行した。1990年代にはエネルギー部門及び軍事関連部門以外の多くの国営企業が民営化された。この急激な民営化移行の過程において「株式担保融資」政策により国営企業株の多くが政界と密接な関わりをもつ寡頭資本家・新興財閥(オリガルヒ)の手に渡るなどして国営企業の寡占化が進んだ。2000年代に入りプーチンの登場とともに政府の影響力・介入度が高まった。2010年代後半にはGDPの約6割を国営企業が、融資の約7割を国営銀行が担っている。国家が市場を主導する「国家資本主義」とされていたプーチンロシアの経済体制は気候変動、パンデミックに伴う経済恐慌に直面して完全な国家独占資本主義=帝国主義国家体制に移行した。そして2022年2月、核兵器をロシアに引き渡したウクライナに対して独立と主権と既存の国境を尊重し、脅威や武力行使を控えるなどとしたブタペスト覚書(1994年)を破り、ロシアはウクライナ侵攻に踏み切った。



一方、イスラエルのガザ攻撃は、最初こそハマスのイスラエルへの奇襲攻撃の報復として始まったが、その執拗な市民を巻き込む攻撃の継続は、アメリカの軍事支援と国連での停戦決議に対する拒否権発動なしにはなしえなかった。

米国は、イスラエルに毎年 38 億ドル（約 5900 億円）の軍事支援を行っており、ハマスへの報復にあたっては追加支援も行われている。

米国内のユダヤ系市民は推計で約 760 万人（全人口の 2% 程度）。ただ政治や金融、IT などさまざまな分野でその人口比以上に存在感がある。

米国内には親イスラエルのロビー団体が複数あり、米国政府に強い影響力をもっている。その中でも「米イスラエル公共問題委員会（AIPAC）」は会員は 300 万人以上、年間予算は 1 億ドル（約 144 億円）にも上る。ガザでのイスラエルの軍事作戦を強力に支持するほか、ユダヤ人によるヨルダン川西岸の占領地への入植活動の推進など、その主張はイスラエル国内の右派勢力に近い。近年はイランに厳しい姿勢を取る共和党との親和性も指摘される。さらに有権者の 4 人に 1 人とされるキリスト教福音派はパレスチナにユダヤ人国家があることを極めて重視し、親イスラエル政策を後押しする。

この 1 年、ハマスはイスラエルを奇襲攻撃して 1200 人を殺害、約 240 人を人質にとった。一方、イスラエルはこの 1 年に 4 万 1000 人以上（うち約 1 万人は子ども）を殺害と、度を越した報復をしている。

### 米国におけるユダヤ系著名人



出典：NHK「キャッチ！世界のトップニュース」

イスラエルは、1948年の建国から約30年間は労働党を中心とする左派政権のもと社会主義シオニズムの理念を反映した農業共同体キブツや労働組合の連合体組織ヒスタドルート（労働総同盟）が、その経済を担った。ヒスタドルートは単なる労働組合ではなく、銀行、保険、建設、運輸、医療などの分野で数多くの事業体を興し、経営した。各種ユダヤ基金やドイツからの賠償金、1960年代末以降急増した米国の援助などがこれを支えた。1967年6月の第3次中東戦争ではパレスチナのヨルダン川西岸とガザを占領下に置いた。占領地はイスラエル商品にとっての専属市場となり、同時に、イスラエル経済への低廉な労働力の供給地として機能し、イスラエル経済の高成長にも寄与することとなった。

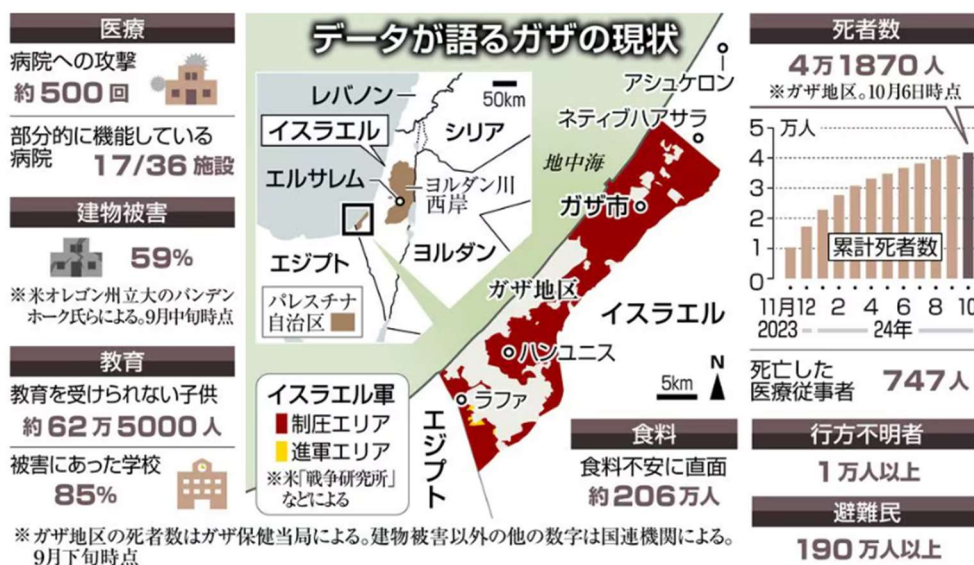
しかし、1970年代半ばから1980年代半ばにかけての約10年間は、第4次中東戦争と2度にわたる石油危機、レバノン戦争などによって低成長と混乱と危機の時代となった。失業率は上昇し、

国際収支赤字とハイパーインフレが進行した。1983年には銀行株の大暴落により、テルアビブ証券取引所を一時閉鎖する事態も起こった。そして、1985年にはこの危機から脱するために右派の「経済安定化計画」が導入された。以降、イスラエル経済は「新自由主義（ネオリベラリズム）」の傾向を急速に強めることになる。とりわけ金融市場と労働市場の自由化はヒスタドルートの弱体化を招いた。2003年に両市場の一層の自由化を大胆に進めたのは、シャロン政権で財務相をつとめたネタニヤフ（現首相）であった。

イスラエルは建国当時の左派政権においても、パレスチナ領土を占領するなど帝国主義国家の特徴を有していたが、右派のクリード党党首ネタニヤフ首相に率いられ、新自由主義政策を強化することで国家独占資本主義=帝国主義国家の性格をより明確にした。そして、それはアメリカの帝国主義の中東における実働部隊としての役割も担っていると言えよう。

## ガザ紛争1年

イスラエル軍とイスラム原理主義組織ハマスがパレスチナ自治区ガザで戦闘を始めて、10月7日で1年が経過する。現在も約100人が人質にされたままで、ガザ側の死者は4万1000人以上となっている。紛争の収束は見えず、むしろ中東地域に拡大する懸念が強まっている。



出典:産経新聞

## 帝国主義の道を進む自民党政権

帝国主義は「新自由主義（ネオリベリズム）」の経済政策を推進することによってその特質をより強化する。「新自由主義（ネオリベリズム）」は小さな政府を志向して公営事業の民営化を推進する。それは見方を変えれば、人々のコモンズ(共有財産)の収奪であり、独占資本に資本集積の機会を与えるものの、地方の社会資本の消滅、経済格差の拡大にもつながる政策である。

日本においては、80年代、イギリスのサッチャリズム、アメリカのレーガノミクスを展開と同時期に中曽根政権が国鉄（現 JR）・電電公社（現 NTT）・日本専売公社（現 JT）の三公社の民営化を実施した。2000年代には小泉純一郎政権が「聖域なき構造改革」を掲げ、郵政民営化を実施した。

小泉政権に続く第1期安倍晋三政権では、戦前の軍国主義への回帰を想起させる「戦後レジームからの脱却」というスローガンが掲げられた。教育基本法が改正され、教育委員会制度の見直しなどを含む教育関連3法が成立。「防衛庁」を「防衛省」に昇格させ、日本版 NSC（国家安全保障会議）設置に向け民間有識者を集め「国家安全保障に関する官邸機能強化会議」を発足させた。所信表明で憲法改正に言及し、憲法改正のための詳細なルールを定めた国民投票法を成立させた。

2007年に体調を壊し政権から離脱した安倍氏は、2012年に政権に返り咲く。第2期の安倍政権では、「アベノミクス」という経済ビジョンを掲げ、大規模な金融緩和を伴う新自由主義政策を約10年にわたって展開した。一方では、日米同盟に依存した外交を積極的に展開し、2013年11月には国家安全保障会議（日本版 NSC）の創設関連法が成立、同年12月には特定秘密保護法が成立。2014年4月には、武器輸出を原則禁じた「武器輸出三原則」に代わって「防衛装備移転三原則」を閣議決定した。そして、2015年には集団的自衛権の行使容認等を内容とするこの安全保障関連法

（「平和安全法制」）を強行採決した。この間、安倍首相をはじめ自民党には統一教会をはじめとする極右勢力との関係を強化する動きも見られた。

安倍首相はその後2020年パンデミックの最中に辞任し、2022年街頭演説中に銃撃され死亡した。当時の岸田文雄政権は安倍元首相の国葬を強行、安倍政治を賛美した。「新しい資本主義」という経済政策ビジョンでは、「資本主義を超える制度は資本主義でしかあり得ない。新しい資本主義は、もちろん資本主義である」と資本主義を賛美した。そのうえで「これまでの転換が、「市場か国か」、「官か民か」の間で振り子の如く大きく揺れ動いてきたのに対し、新しい資本主義においては、市場だけでは解決できない、いわゆる外部性の大きい社会的課題について、「市場も国家も」、すなわち新たな官民連携によって、その解決を目指していく」としている。安全保障関連3文書（「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」及び「防衛力整備計画」）と合わせて読めば、帝国主義への転換を意味することがわかる。かくして、2023年度から5年間の防衛費は総額43兆円、GDP比では1%から2%に倍増され、トマホークミサイルなど敵基地攻撃能力兵器の導入が進められている。

一方、岸田首相は広島選挙区選出の議員でありながら、「核兵器禁止条約」を無視し続けた。今回新たに首相に選出された石破茂首相も、被団協のノーベル賞受賞の直後の質問に対して核兵器禁止条約会議へのオブザーバー参加すら明言しなかった。石破首相はさらに「アジア版 NATO」なる新たな軍事同盟、軍事ブロック化による分断、威嚇、挑発をアジアに持ち込もうとしている。

日本国憲法第9条及び第99条をいま一度読み直したい。

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解

決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第九十九条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

第9条は、戦争や武力の行使はもちろん、「武力による威嚇」を永久に放棄するとしている。トマホークミサイルや核の傘などの抑止力は、間違いなく「武力による威嚇」である。第99条は、国務大臣、国会議員はこの憲法を尊重し擁護する義務を負うとしている。憲法を蔑ろにする自民党議員に政府を担う資格はない。

10月9日には衆議院が解散。政府ではただちに臨時閣議を行い、10月15日公示、同27日投開票で衆院総選挙を行う日程を決定した。10月11日には、日本原水爆被害者団体協議会（被団協）がノーベル平和賞を受賞した。

自民党によって進められてきた帝国主義化、軍国主義化を止める絶好の機会が訪れているのではないだろうか。

10月9日 衆議院解散



出典：自民党ホームページ

10月11日 被団協ノーベル賞受賞



出典：中日新聞

防衛力整備計画に盛り込まれた敵基地攻撃に使用できる主な兵器

<b>長射程ミサイル(距離は射程)</b>	
	12式誘導弾 1000km超 国産で能力向上型開発。陸海空から発射
	トマホーク 1600km 米国製。イラク戦争などで米軍使用
	高速滑空弾 2000km超 国産で能力向上型開発。高速で滑空
	極超音速誘導弾 2000km超 国産で開発。音速の5倍以上で迎撃困難
<b>航空機</b>	<b>艦艇</b>
<b>F35A・F35B</b> 高いステルス性。長射程ミサイルで攻撃	<b>多機能護衛艦</b> 長射程ミサイルを搭載するように改修
<b>スタンド・オフ電子戦機</b> 離れた位置から通信やレーダーを妨害	<b>潜水艦</b> 長射程ミサイルを発射できる艦を開発
(トマホーク、潜水艦、無人機を除くイメージは防衛省資料や航空・海上両自衛隊ホームページ資料をもとに作成)	<b>無人機</b> 多用途や攻撃用 偵察のほか攻撃にも活用

出典：東京新聞

## 脱資本主義とは

前述した①資本の価値増殖最優先、②収奪・略奪・搾取による格差拡大、③帝国主義的戦争という3つの資本主義の基本的かつ本質的特徴は、人類社会や環境の破局的危機をもたらす。これらを克服することが脱資本主義である。

脱資本主義は、資本主義の構成要素を否定するものではない。例えば貨幣や商品市場、金融市場を否定するものではない。私有財産や自由市場や自由契約を否定するものでもない。

マルクスは、労働者階級がなすべきことは、「崩壊しつつある古いブルジョア的社會秩序（資本主義社會）の体内にすでに存在しているこの新しい社會の諸要素を解き放つことなのだ」と述べている（『フランスにおける内乱』1971年）。資本主義社會の矛盾を克服する諸要素は、資本主義社會の中に存在しているのである。

一方で、すべてを「資本」、つまり金儲けの手段とすることには反対する。

例えば、企業の財務情報と ESG 活動など非財務情報を統合して報告する統合報告書の枠組みを示す「国際統合報告〈IR〉フレームワーク」では、資本を次の6つに分類して説明せよとしている。

- 財務資本
- 製造資本
- 知的資本
- 人的資本
- 社会・関係資本
- 自然資本

資金としての財務資本、建物や設備など生産手段としての製造資本、特許、著作権、ソフトウェアなどのいわゆる知財としての知的資本あたりまではともかく、人間や社会関係や自然までもが金儲けの手段として資本化されるのが、現代の資本主義である。

脱資本主義の観点に立てば、人間や社会関係、自然は、本来的に貨幣や資本に先行して存在する

ものであり、「資本の論理」で制御すべきものではなく、「生命・生活の論理」で制御すべきものである。さらに言えば、財務資本とされる資金も製造資本とされる生産手段も知的資本とされる知財も、金儲けの手段として「資本の論理」で制御するのではなく、「生命・生活の論理」で制御するあり方もあり得る。

いわゆる「倫理資本主義」なるものは、資本を倫理的な「生命・生活の論理」で制御しようとするものなのかも知れないが、それはもう資本主義とは言えない。

資本主義、すなわち「資本の論理」が支配してきた歴史は、自然や人間の生命にも生活にも環境にも破壊的に凶暴に残酷にふるまってきた。そして今われわれが直面する環境や戦争の危機がもたらされた。

「資本の論理」ではなく、「生命・生活の論理」で動く社会を構想するのならば、まず「脱資本主義」を図らねばならない。

## 脱資本主義の方向と方策

脱資本主義の方向性は明確である。資本主義の基本的かつ本質的な3つの特徴である①資本の価値増殖最優先、②収奪・略奪・搾取による格差拡大、③帝国主義的戦争を克服する方向、つまり逆の方向である。

第1に、資本の価値増殖(金儲け・利潤追求)よりも、生命や環境を優先する方向、「資本の論理」よりも「生命・生活の論理」を優先する方向である。

第2に、格差を拡大するのではなく、格差を是正する方向である。資本蓄積のための収奪・略奪、資本―賃労働関係における搾取を抑制し、人々の基本的な必要に基づいて富の分配や余剰の再分配を図る方向である。

第3に、国家と資本の癒着を防ぎ、国家や資本の帝国主義化を抑制し、戦争を合理化せず、放棄する方向である。戦争における戦争犯罪を禁止す



るのではなく、戦争そのものを禁止し、戦争を起こそうとする者を厳しく取り締まる方向である。

そして、脱資本主義のための方策には様々なアプローチがありうる。とりあえず私が思いつくのは、3つの挟撃、つまり3つの挟み撃ちというアプローチである。

ひとつ目は、上部構造と下部構造からの挟み撃ち。経済的社会構成体の上部構造である法制度、政治、社会意識の変革と、下部構造の経済システムの同時変革。上部構造としては、資本主義の本質的特徴による暴走を制御する各種法制度の構築、金権政治を拒否するクリーンな政治家・政党の躍進、資本の暴走を制御する有能な官僚と腐敗のない官僚機構などが必要だ。日本においては、まず「脱自民党」、つまり政権交代や企業団体献金の禁止などが脱資本主義の重要な要素となる。そして、下部構造では、資本主義的な生産様式とは異なる社会的所有に基づくあらゆる形態の経済主体、経済システムの創設が試され、資本ではなく、コモンを増やすことが目指されるべきだ。

ふたつ目は、資本主義システムの内部からと外

部からの挟み撃ち。企業の内部（経営者や労働者）からの改革と外部ステークホルダーからの改革要求。CSR や ESG 活動でのステークホルダーダイアログやエンゲージメントなどもこれにあたる。惨事便乗型資本主義の様相を呈するグリーン・ニューディールなどの動きを惨事便乗型脱資本主義に転化させることが必要である。

そしてもうひとつは、ローカルとグローバルの挟み撃ち。例えば、国内の土地や資産の独占所有の禁止と多国籍企業の土地や資産所有の規制。企業の国内の最低賃金の引き上げ、賃金格差の是正と国際的なサプライチェーンでの処遇改善・格差是正。国内の累進課税の強化とグローバルタックスに向けての国際連携。国内の軍事費の削減と国際的な大量破壊兵器禁止と軍縮アクション。国連のSDGsへの脱成長目標、軍縮目標の設定などである。

多様な脱資本主義の革命運動が世界に日常に静かに広く深く浸透し、猛威をふるう資本主義ウイルスに破局を待たずに打ち克つことを期待したい。

## 環境俳句

循環研理事 及川陽子

本当に暑かった夏もやっと去り、ほっと一息と  
いった所でしょうか。それでも時は移ろい行くも  
のですね。気がつけばもう10月。今年も残すところ  
早3ヶ月となりました。

去る9月19日は仲秋の名月でした。我が家の  
東側の窓からも大きな月を眺めることが出来ました。

十五夜にまつわるお話をひとつ。

『平家物語』巻六や『たまきはる』に登場する小  
督の局は平安時代末期の女性。藤原通憲（信西）の  
孫。桜町中納言・藤原成範の娘。高倉天皇の後宮。  
類稀な美貌の箏の名手だったと伝わっています。

平安時代、平家が権力を掌握していた頃、小督  
局は、高倉院の寵愛を受けていましたが、高倉院  
の妻である中宮徳子の父、平清盛の権勢を恐れて  
身を隠します。そのことに高倉院は深く嘆き、行  
方を気にかけていたところ小督が嵯峨野に隠棲し  
ているという話を耳にします。旧暦の八月十五日  
仲秋の夜、院は、臣下の源仲国を召し出して、小督  
の行方を探させます。仲国はしばしば、宮廷で小  
督の琴の音に合わせて、笛を吹いたことがあり、  
小督の琴の音色を聴き分けることができたよう  
です。十五夜の明月に誘われて小督が琴を弾くに違  
いないと考えた仲国は馬を駆り、嵯峨野へ出かけ、  
琴の音がしないか訪ね歩きますが身をかくせるよ  
うな所もなく、さまよい思いわずらうちに、亀山  
のあたりちかく、松が一むらある方面に、かすか  
に琴の音がきこえてくるのでした。峰の嵐か松風  
か、尋ねる人の琴の音か。

馬脚をはやめて行くうちに、片折戸した家の内  
に琴の音がきこえ・・・。

それは小督局が、帝と別れてしまったことを嘆  
きつつ、その思い出を懐かしみながら弾く「想夫  
恋」の曲でした。小督の琴の音だと確信した仲国

は、案内を乞い小督に高倉院の親書を渡します。  
小督は、遠くまで自分を探しに来てくれた高倉院  
への感謝の心を示し、帰ろうとする仲国を止めて  
酒宴を催し、仲国は男舞を舞うのでした。やがて  
酒宴は終わり、小督が見送るなかを、仲国は馬に  
乗って、都へ帰っていくのでした。

時雨降るあれは小督の琴の音か 霧乃

かなり昔、私が句作を始めた頃の句です。この  
「時雨」は雨でもあり小督の使っていたことの名  
称でもあります。（時雨は初冬の季語）

**秋号投句** お題は秋の色。俳句の講評や添削は  
「寺門土果」先生にお願いしております。添削は  
句作の折に参考にして下さい。

### 酔鶏

※里山が秋の色に染まると収穫祭。芋煮と酒でい  
い気分。しかし、鬼籍に入った人も。

### 秋の色去年居る人の今年居ず

評) 秋の色だけでは想像の範囲が広すぎます。

添削) 芋煮会今年居る人居ない人

秋の色今年天から見る人も

天からも里山の秋みえますか

### 秋の色まずは一杯ひやおろし

評) ひやおろしは秋の限定酒ですから「秋に色」  
はなくてもいいです。

添削) 鍋に湯気まずは一献ひやおろし

### 千鳥足止めてしばらく秋の色

添削) 千鳥足とどめる秋の樹々の色

牛閑

爆ぜたきも未だ我慢の栗の毬

評) 毬(まり、たま)に音に違和感があります。

添削) 爆ぜるまい火中の栗の我慢かな

雨降りていただける萩の悩ましさ

添削) 雨の萩裾のしだるる女かな

色づきて笑いこらえる柘榴かな

添削) 柘榴割れて赤き笑ひを零したる

北竜

秋の庭ひまわり朝顔色を添え

※夏の終わりにもらった苗が咲きました。

評) 朝顔があれば、秋という必要はありません。

向日葵は夏の植物です。そこで…

庭の色は朝顔と名残りの向日葵として、向日葵は夏の名残りとする

添削) 向日葵の咲き後れたり庭に華

添削) 向日葵は夏の名残や種の色

庭に穴ねずみ顔出し憂う秋

※かわいい顔したネズミなのですが…

添削) 秋風や鼠顔出す庭の穴

中秋の月を LINE で共有し

※すすきのの帰りに満月に気づきました

評) 「共有し」という散文調は避けます。

添削) ほろ酔いで LINE に乗せり秋の月

私、霧乃も一句

飛ぶ鳥の影を落として秋を行く

次回秋号のお題は「年末或いは年始の季節感の句」  
を詠んでください。投句の締め切りは 12 月 24 日。  
投句数の制限はありません。

## 春夏秋冬

2024.10

秋が来ない。災害級の酷暑の夏が過ぎ、暑さ寒さも彼岸まで、と言われているのに、いつまでも残暑が続く。この頃は雨や曇りの日は、確かに涼しくはなってきた。しかし一旦太陽が顔を出すと、真夏日 30℃ 越えだ。天高く突き抜けるような青空の秋は何処に行ったのか。日本の春夏秋冬のバランスは完全に崩れている。今年の二十四節気から、春分の日は3月20日、夏至は6月21日、秋分の日は9月22日、冬至は12月21日が四季の中心日となる。春分の日と冬至は、まあ実感する季節のままと言えそうだ。しかし、夏至と秋分の日の実感の夏の盛り、秋の盛りとは大分かけ離れしている。この先、夏は立夏の5月5日より立秋の8月7日、秋分の日をも超えて立冬の11月7日までに迫ってきそうな勢いだ。もう秋は、日本の季節から無くなってしまふかもしれない。更に、この時期は豪雨、台風など甚大なる自然災害が多発する。二重被災された能登の方々を思えば、秋が来ないなどと嘆いてばかりもいられない。

異常気象が続き、秋が来ないまま10月1日、石破新内閣が発足した。総裁選での公約である十分な国会論戦との主張を覆し、9日早々に解散、総選挙に打って出た。最初からぶれまくる石破新首相の舵取りで政治改革は進むのか。国内外待ったなしの難題は山積みだ。さて、さて新内閣の船出も豪雨に見舞われ、難破しなければよいのだが。このままでは日本は小さな秋さえ迎えずに、そのまま厳しい冬に突入してしまうかもしれない。



イイギリ:戸定邸 in 松戸

あ〜あ！10月に入ったというのに、秋の気配さえ感じることが出来ない。今日も真夏日だ。この先、地球環境は、戦争は、はた又日本の政治はどうなるのか、心配ごともどんどん積み増していく。「春夏秋冬」スラスラ筆の進む秋なのに、何も浮かばない。そもそも何もやる気が起きない。その時、飯田蛇笏先生から夏バテ気分に入った。

### 扇おくところに百事新たなり

飯田蛇笏

文/写真：風月（M）

循環型社会研究会（Workers Club for Eco-harmonic Renewable Society）とは  
循環型社会研究会は、10年来有志で環境問題現場でのフィールドワークを中心に活動しておりましたが、2002年7月3日に特定非営利活動法人の法人格を取得しました。「次世代に継承すべき自然生態系と調和した循環型社会のあり方を地球的視点から考察し、地域における市民、事業者、行政の循環型社会形成に向けた取組みの研究、支援、実践およびそのための交流を行う」ことを目的として活動しています。循環研通信は年に4回発行しています。広く原稿を募集しています。次回の環境俳句のお題は「年末或いは年始の季節感の句」です。12月24日が締め切りです。